



立江中などで最後の卒業式 22面

2016年(平成28年)3月12日 土曜日

徳島新聞

育児支援が生産性向上 徳島市ではぐくみセミナー



徳島県は10日、徳島市のふれあい健康館ではぐくみ支援実践セミナー「はぐくみ支援の業の人事担当者ら約70

人が参加した「写真。県のはぐくみ支援企業表彰を受けた「松本コンサルタント」の松本祐一社長と「イドム」の後藤眞人社長、「ネオビエント」の藍原理津子社長が自社の事例を発表した。

松本コンサルタントは昨年、くるみんマークの最高位「プラチナくるみん」を四国で唯一取得。松本社長は男性の育児休暇推進や短時間勤務制度の導入を紹介し、「家庭生活の充実なくしていい仕事はできない。経営判断として、育児支援に取り組んできた」などと強調した。

後藤社長は出産手当を増額し、育児中のスタッフのシフトを希望に応じて柔軟に対応。「育児しやすい環境を整えたことで優秀な人材を確保できている」とした。藍原社長も残業時間削減などの取り組みを紹介した上で、「生産性が向上し、売り上げ増加や社員の能力アップにつながっている」と話した。

(乾榮里子)